

社会福祉学科

介護福祉 専攻

科目名: 介護総合演習 I				担当教員 氏名: 毛利 亘		
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考	
1	1年次	前期	専門科目	演習	選択	介護福祉士国家試験受験資格(必修)
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:				介護従事および施設管理者の経験から、高齢者施設介護や業務について理解を促します。		
授業科目の学習教育目標の概要:				キーワード		
本科目は利用者との人間的なふれあいを通して、基本的な生活援助技術、コミュニケーション技術を学び、個別ケアの重要性の理解、介護福祉士の役割の理解といった目標を持つ実習 I-①に関する事前・事後指導科目です。				介護実習 I-① 入所・通所サービス 地域における生活支援		
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		2. 3. 4. 5. 6. 7. 9.		
A 知識・理解力		実習 I-①の目的を理解することができる				
B 専門的技術		利用者主体で関わるることができる				
C 論理的思考力		自身の実践を振り返り考察する能力を養うことができる				
G 倫理観		介護福祉士としての倫理を理解することができる				
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 50 %	レポート: %	発表: %	実技試験: %	その他: 50 %		
特記事項: その他50%は授業態度や取り組みの姿勢、実習記録ファイル等の提出を評価します。また実習終了後の報告会に関する評価も含まれます。						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 実習前に理解度を把握するテストをします。実習終了後に最終評価として報告会を行います。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 筆記試験及び演習用シートにコメントします。						
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)		
				学習内容	学習に必要な時間(分)	
①実習とは				実習要綱2pを読む	【予習】30分 【復習】30分	
②実習施設の理解1				実習要綱3pを読む	【予習】30分 【復習】30分	
③実習施設の理解2 地域における生活支援～通所介護～				実習要綱実習プログラム例を読む	【予習】30分 【復習】30分	
④記録1 オリエンテーションの記録				授業で配布された資料を復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑤記録2 かかわりの記録				授業で配布された資料を復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑥記録3 考察とは				授業で配布された資料を復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑦記録3 目標とは				授業で配布された資料を復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑧記録4 日々の記録				演習を振り返る	【予習】30分 【復習】30分	
⑨記録5 経歴録や必要書類の理解				授業で配布された資料を復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑩記録4 日々の記録②				演習を振り返る	【予習】30分 【復習】30分	
⑪事前打ち合わせ訪問に向けて				授業で配布された資料を復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑫特別講義				演習を振り返る	【予習】30分 【復習】30分	
⑬事前訪問報告会				授業で配布された資料を復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑭留意事項の確認				授業で配布された資料を復習	【予習】30分 【復習】30分	
⑮直前オリエンテーション・実習報告会に向けて				授業で配布された資料を復習	【予習】30分 【復習】30分	
使用テキスト: ①最新介護福祉士養成講座「介護総合演習・介護実習」中央法規出版 介護福祉士養成講座編集委員会 ISBN978-4-8058-5770-0 ②「介護実習要綱」				その他参考文献など: 「介護職のための根拠に基づいた記録の書き方」エルゼビア・ジャパン 是枝祥子・佐藤富士子・浦尾和江・嶋田美津江編著		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 介護実習要綱及び実習ファイル等は授業の中で配布します。自己管理に留意すること。						